

平成 25 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 矢 崎 雄 一 郎  
(コード番号：2191)  
問 合 せ 先 取 締 役 山 本 龍 平  
電 話 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

## 学校法人北里研究所（北里大学北里研究所病院）と新たに提携契約を締結

当社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎）は、この度、学校法人北里研究所（所在地：東京都港区、理事長：藤井 清孝）と提携契約を締結し、北里大学北里研究所病院（以下「北里研究所病院」）に対して、樹状細胞ワクチン療法<sup>※1</sup>の技術・ノウハウの提供を開始いたします。北里研究所病院内の腫瘍センターにおいて本年秋より樹状細胞ワクチン療法の臨床研究を開始し、あわせて先進医療及び薬事承認に関する検討を行ってまいります。これにより、契約医療機関は全国で30か所となります。

北里研究所病院は、明治26年に北里柴三郎博士によって開設された日本初の結核療養所「土筆ヶ岡養生園」に始まり、昭和48年に総合病院へ転進、平成20年には学校法人北里研究所が発足し、北里大学北里研究所病院となりました。平成22年に、がんの三大療法（手術療法、化学療法、放射線療法）に加え、予防から緩和ケア、在宅医療等に至るまでの幅広くかつ一貫したがん診療への取り組みが評価され、東京都認定がん診療病院<sup>※2</sup>に認定されています。

北里研究所病院内に創設された腫瘍センターは、病院理念である「心ある医療」を実践するために、標準治療に加えて、患者のみなさまの病状や希望に応じた医療を実施するという基本方針を掲げています。免疫療法の一つである自己腫瘍を用いた活性化自己リンパ球移入療法<sup>※3</sup>は、先進医療として承認されており、この方針の一環として行われています。

当社は今後も、樹状細胞ワクチン療法の技術・ノウハウの提供を拡大することで、より多くのがん患者のみなさまに貢献してまいります。

なお、本件による今期業績への影響は軽微であります。

---

### 【※1】 樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの目印である物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻します。樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球にがん細胞のみを狙って攻撃させることができます。

**【※2】東京都認定がん診療病院**

東京都民に高度ながん医療を提供するため、国が指定するがん診療連携拠点病院と同等の高度な診療機能を有する病院を「東京都認定がん診療病院」として、東京都が独自に認定するもので、現在10か所の認定がん診療病院があります。

**【※3】自己腫瘍を用いた活性化自己リンパ球移入療法**

リンパ球を体外に取り出し、これを手術等で採取されたがん組織と培養することにより、患者自身のがんに対する攻撃力の強いリンパ球に育てます。さらに細胞数を増幅した後に体内に戻すことで、体内でこのリンパ球ががんを攻撃する治療法です。平成19年に厚生労働省により先進医療として承認されています。

---

以上